



ほり
こと

スクールソーシャルワーカーだより

こと ほりかわしげとし

45

☆ 不純異性交遊 の巻 ☆

前回に引き続き、

『パンツの教室協会・のじまなみさんのコラム』から

のじまさんの小5の次女がレストランでいきなり『不純異性交遊って何?』と尋ねられた話。彼女の質問はスマホ向けビデオ映像・TikTokで気になった言葉が出所。TikTokは小学生から大人まで、時代の最先端を作っているツールだそうです。動画はYouTubeだけではないのです。次女さんは、そこで聴いた音楽の言葉の意味を尋ねてきたのです。

☆あなたは、どう答えますか?★

正解は、『いい質問だね!』と答えることでした。ドキリとするほど良い質問だ、と言うのが当たっているかも知れません。では、その後は?

お手本は、「結婚していない男女がしてはいけない事をする事だと一般的には言われている」私は言葉に詰まってしまいました。その場では一旦受け止めるだけに、「大事な質問で、間違えたらいけないから、ちゃんと調べから教えてあげる」と収めます。もちろん、時と場所、言葉を選んで教えてあげます。その場のしるぎをすると、子どもはしっかり覚えていて、あなたもわたしも、子どもの信用を失って行きます。

★

この時、「こんな所でそんな事きくんじゃない!」的に封じ込めたらどうなるでしょう?一度きりルールからいうと、二度目はありません。子どもはどうするか。TikTokを視聴した同じツールでググル(検索する事)でしょう。良いお手本も出て来ますが、子どもの興味がそこで収まるかどうか、はなはだ疑問です。

あるいは、友だちと一緒にググルかも知れません。子どもには、「自分の周り三人以上に共通する事」を、「みんなが～」と表現する事をご存知ですか?「みんなで渡ればこわくない」とも言います。私の仕事、スクールソーシャルワーカーは、心配することなのです。だからどんどん、心配の淵にはまって行きます。

☆ ★ ☆

のじまさんは、『よくぞ、私に聞いてくれました。ありがとう!』と思ったそうです。私も、インターネット先生は、子どもを(おとなも)危険地帯にガイドして行くこともあると思っています。



悪魔は、もともとは天使だった